

解答

一

- 問一 ① 見識 ② 骨子 ③ 好敵手 ④ 清算 ⑤ 看過
⑥ 委細 ⑦ 一糸 ⑧ 進物 ⑨ 寸評 ⑩ 兆（徴）候
問二 ① ウ ② オ ③ エ
問三 ① エ ② イ

二

- 問一 筆者が対談直前は、ゲストに会いたくないとさわいで周囲を困らせたくせに、対談が終わると何事もなかったかのように、会えてよかったと言うから。
問二 A 人見知りなわけではない B 開き直る
C ウチへ帰って布団にもぐりたい
問三 A
問四 幼いころ私はわがままで泣き虫だったので、友達に意地悪されたとき、いつも近くに母がいて助けてくれました。今も、友人関係で、意地悪をされて母に頼りたくなるときもあります。学校や塾に母はいないし、いつまでも母に頼ること自体恥ずかしいことだと思ってしまう。自分で考えて解決をしなければと覚悟を決めています。

問五 茶飯事

問六 本当は人見

- 問七 A A イ B ウ A エ B オ A

三

- 問一 一つ 卑屈なまでの忠実さ
二つ 不憫なまでの報われなさ
問二 辞書は万能でないと知ること、作者の努力と熱意が感じられるから。
問三 辞書は荒木
問四 定年になるし、具合の悪い妻のそばについていてやりたいから。
問五 エ
問六 ア
問七 新しい辞書の企画を推進していける、有能な人材を探し出すこと。